

チベットのこと、 知っていますか？

今こそ、学び、考え、行動する日本仏教へ
ダライ・ラマ法王がインドに亡命して半世紀、チベット問題は今なお
混迷の度を深め、解決の糸口を見出せずにいます。今こそ、私たちは
「聞・思・修」というサンガの基本に立ち返り、チベット問題の本質
を学ぶとともに、宗派を超えて叡智と行動を結集し、希望の道を探る
時ではないでしょうか。

そこで、当会結成1年を迎えるに当たり、宗派を超えてチベットの平
和を祈念する私たち日本の仏教者が、再びその思いを寄せ合う結集を
開催いたします。当会設立の意義を見つめなおし、未来に向けて、私
たち日本の仏教者が果たすべき役割を見出す集いにしましょう。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



第2回結集特別講師

ケルサン・ギャルツェン氏（ダライ・ラマ法王特使）

1951年チベット・カム地方に生まれる。83年以降チベット亡命政
府の任務に就く。スイスのチベット事務所代表、駐欧州連合特使などを
歴任。現在、ダライ・ラマ法王により任命された2名のチベット代表団
特使のひとりとして中国政府との交渉にあたり、2002年以降、中国
指導部との8回の公式協議と1回の非公式協議に臨むとともにチベッ
ト交渉対策本部のメンバーも務める。ダライ・ラマ法王の特使という立
場から、チベットに関する講演やインタビューにも精力的に取り組み、
チベットの人々の悲劇に光をあてるべく尽力している

石濱裕美子氏（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

文学博士。早稲田大学大学院博士課程修了。同大学教育学部専任講師、
准教授を経て現職。

編著書に「チベット仏教世界の歴史的研究」（東方書店、2001）、「チ
ベットを知るための50章」（明石書店、2004）、「図説 チベット歴
史紀行」（河出書房新社、1999）、訳書に「聖ツォンカバ伝」（大東出
版社、2008）、「ダライ・ラマの仏教入門」（光文社、2000）、「ダ
ライ・ラマの密教入門」（光文社、2001）など。現在、日本国内における
チベット史研究の第一人者。

平成21年5月23日(土)午後3時～6時

会場/東京 護国寺【桂昌殿】

地下鉄有楽町線「護国寺」下車すぐ

参加費無料

（要事前申込 下記ホームページまたはFAX 045-431-2241/観音寺）

参加資格なし（どなたでもご参加いただけます）

聞・思・修

学び、考える、行動する

三慧、聞・思・修。学び、論理的
に考えて、繰り返す瞑想実修により
「正しい理解」を身につける。このプ
ロセスから生じる仏陀の叡智が、慈悲
（共感共苦）による「行動」へ、そし
て「社会参加する仏教」へ。宗派を超
える思いが、今、一歩踏み出します。

第2回結集 in 護国寺

宗派を超えてチベットの平和を祈念する僧侶の会

主催：宗派を超えてチベットの平和を祈念する僧侶の会 協力：ダライ・ラマ法王日本代表部事務所

<http://www.supersamgha.jp/>